



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月17日

上場会社名 株式会社テン・アローズ

(コード番号：9885 大証第2部)

(URL <http://www.ten-arrows.com/>)

代表者 代表執行役社長 三屋 裕子

問合せ先責任者 経理部 部長 谷口 博樹

(TEL：(078) 792-7414)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
法人税等の計算につきましては、一部簡便な方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
当連結会計年度より、ギフト卸売事業の運送費および一部カタログの売上高を費用の戻りとする処理に変更しております。なお、この変更による損益への影響は軽微であります。
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
連結(新規) 1社 (除外) 1社

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	13,381	△16.3	523	797.1	631	330.0	△401	—
18年3月期第1四半期	15,984	△7.9	58	△75.8	146	△52.2	△48	—
(参考) 18年3月期	61,134		727		1,091		△76	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	△20.72	—
18年3月期第1四半期	△2.53	—
(参考) 18年3月期	△3.94	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の回復による設備投資の増加や、雇用環境の改善による個人消費の拡大など、景気は回復基調を持続しましたが、米国経済の減速感や原油価格の高止まりによる原材料価格の高騰等も懸念され、景気の先行きは依然不明瞭な状況であります。

このような環境のもと、当社企業グループは企業価値の向上を図るべく、業績の回復を最優先事項と位置付け、積極的な事業運営を進めてまいりました。

レディースインナー等卸売事業におきましては、創業以来築き上げてきました「人と人との絆」の大切さを再認識するとともに、シャルレビジネスの原点であるお客さまとのコミュニケーションをより重要な要素として認識し、サービスを超えた「おもてなしの心」を実践するため、ビジネスメンバーとの徹底した意識の共有化を実施してまいりました。

当第1四半期の売上高は、スムーズファンデーションを投入した化粧品が好調に推移しましたが、定番商品の不振に加えてナイティ・カットソー・水着の商品群が消費者の嗜好に対応しきれずに苦戦し、72億32百万円（前年同期比14.8%減）となりました。

ギフト卸売事業では、儀礼的ギフトの縮小などの構造的な問題がある中で、市場が伸長している分野であるカタログ式ギフトの新商品「ギフトセレクション・トワニー」と、近年注目されている産地直送の食品を特集した「中元カタログ」の発売を営業の軸として、既存の販売店への浸透と新規販売店の開拓を積極的に展開し、従来市場におけるシェア拡大に努めました。また、もうひとつの柱として、物流、IT、コールセンターの機能を提供してセールスプロモーション案件の獲得を推進いたしました。

このように積極的な事業活動を展開しましたが、競争の厳しい市場の情勢とギフトセレクション・トワニーと中元カタログは第2四半期からの売上に寄与することから、当第1四半期の売上高は61億19百万円（同14.1%減）となりました。

以上の結果、連結売上高は133億81百万円（同16.3%減）となりました。利益面においては、粗利益率の改善、コスト削減の取り組みや人件費等の減少による販管費の減少などにより、営業利益5億23百万円（同797.1%増）、経常利益6億31百万円（同330.0%増）と改善しました。また、当社取締役会長（創業者）の退任に伴う役員退職慰労金7億77百万円を特別損失に計上したことなどにより、四半期純損失は4億1百万円（前年同期は48百万円の純損失）となりました。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	38,960	23,489	59.6	1,198.78
18年3月期第1四半期	39,427	24,327	61.7	1,255.18
(参考) 18年3月期	39,622	24,379	61.5	1,257.93

(注) 18年3月期第1四半期および18年3月期の純資産には、少数株主持分を含めておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△3,091	2,052	330	7,852
18年3月期第1四半期	△566	△129	△175	6,263
(参考) 18年3月期	△1,177	1,077	1,516	8,560

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

①財政状態の変動状況

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6億61百万円減少し、389億60百万円となりました。負債は、短期借入金増加などにより4億89百万円増加し、154億71百万円となりました。

純資産は、四半期純損失および前期の利益処分による配当金の支払いなどで、11億51百万円減少し、234億89百万円となりました。この結果、自己資本比率は59.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて7億8百万円減少し、78億52百万円となりました。

○営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期における営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは、30億91百万円となりました。主な要因は、売上債権の増加額8億51百万円、たな卸資産の増加額12億29百万円、未払金の減少額16億75百万円、役員退職慰労金7億77百万円であります。

○投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期における投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、20億52百万円となりました。主な要因は、有価証券の売却・償還による収入30億95百万円、有価証券の取得による支出6億34百万円および無形固定資産の取得による支出3億36百万円であります。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期における財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、3億30百万円となりました。主な要因は、短期借入金増加額8億62百万円、前期の利益処分による配当金の支払額4億85百万円であります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

平成18年5月19日に公表いたしました中間期および通期の業績予想に変更はありません。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	29,350	380	△910
通期	59,700	1,510	△440

(参考) 1株当たり予想当期純損失（通期）22円69銭

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		当第1四半期末 (平成18年6月30日現在)		増 減 金 額	(参 考) 平成18年3月期	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
	(資産の部)		%		%			%
I	流動資産	17,742	45.0	21,303	54.7	1,804	19,498	49.2
	現金及び預金	4,341		5,513		2,418	3,094	
	受取手形及び売掛金	3,570		4,403		851	3,552	
	有価証券	3,426		3,327		△3,149	6,477	
	たな卸資産	5,721		6,683		1,229	5,453	
	繰延税金資産	238		42		—	42	
	その他	540		1,415		425	989	
	貸倒引当金	△95		△83		27	△111	
II	固定資産	21,685	55.0	17,657	45.3	△2,466	20,123	50.8
	有形固定資産	5,605	14.2	5,359	13.6	△6	5,365	13.6
	無形固定資産	1,768	4.5	1,403	3.7	210	1,192	3.0
	投資その他の資産	14,311	36.3	10,894	28.0	△2,670	13,565	34.2
	資産合計	39,427	100.0	38,960	100.0	△661	39,622	100.0
	(負債の部)							
I	流動負債	11,369	28.8	12,847	33.0	719	12,128	30.6
	支払手形及び買掛金	4,461		4,427		597	3,829	
	短期借入金	609		3,456		854	2,602	
	未払金	—		2,252		△981	3,234	
	賞与引当金	303		252		△115	367	
	その他	5,995		2,459		365	2,093	
II	固定負債	3,305	8.4	2,623	6.7	△229	2,852	7.2
	長期借入金	1,517		1,272		△38	1,311	
	退職給付引当金	1,286		973		△8	981	
	その他	501		377		△183	560	
	負債合計	14,675	37.2	15,471	39.7	489	14,981	37.8
	(少数株主持分)							
	少数株主持分	425	1.1	—	—	—	261	0.7
	(資本の部)							
I	資本金	3,600	9.1	—	—	—	3,600	9.1
II	資本剰余金	4,897	12.4	—	—	—	4,897	12.4
III	利益剰余金	17,076	43.3	—	—	—	17,076	43.0
IV	その他有価証券 評価差額金	△49	△0.1	—	—	—	△1	△0.0
V	為替換算調整勘定	△0	△0.0	—	—	—	4	0.0
VI	自己株式	△1,197	△3.0	—	—	—	△1,197	△3.0
	資本合計	24,327	61.7	—	—	—	24,379	61.5
	負債、少数株主持分 及び資本合計	39,427	100.0	—	—	—	39,622	100.0

科 目	期 別	前第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		当第1四半期末 (平成18年6月30日現在)		増 減 金 額	(参 考) 平成18年3月期	
		金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(純資産の部)			%		%			%
I 株主資本		—	—	23,393	60.0	—	—	—
資 本 金		—	—	3,600	9.2	—	—	—
資 本 剰 余 金		—	—	4,897	12.6	—	—	—
利 益 剰 余 金		—	—	16,093	41.3	—	—	—
自 己 株 式		—	—	△1,197	△3.1	—	—	—
II 評価・換算差額等		—	—	△159	△0.4	—	—	—
その他有価証券		—	—	△164	△0.4	—	—	—
評価差額金		—	—	4	0.0	—	—	—
為替換算調整勘定		—	—			—	—	—
III 少数株主持分		—	—	256	0.7	—	—	—
純資産合計		—	—	23,489	60.3	—	—	—
負債及び資本合計		—	—	38,960	100.0	—	—	—

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

2 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		当第1四半期		増 減	(参 考)	
	前第1四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕		〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕			平成18年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
		%		%			%
I 売上高	15,984	100.0	13,381	100.0	△2,603	61,134	100.0
II 売上原価	11,001	68.8	8,514	63.6	△2,486	41,272	67.5
売上総利益	4,982	31.2	4,866	36.4	△116	19,861	32.5
III 販売費及び一般管理費	4,924	30.8	4,343	32.5	△581	19,134	31.3
営業利益	58	0.4	523	3.9	464	727	1.2
IV 営業外収益	107	0.6	124	0.9	17	469	0.8
受取利息及び配当金	54		45		△9	143	
有価証券売却益	11		43		31	—	
投資事業組合運用益	—		—		—	116	
ギフト券未交換益	12		19		6	52	
その他	28		17		△11	157	
V 営業外費用	18	0.1	16	0.1	△2	104	0.2
支払利息	9		8		△0	33	
手形等売却損	4		—		△4	—	
為替差損	—		—		—	1	
社宅解約損	—		2		2	5	
有価証券売却損	—		—		—	23	
持分法による投資損失	—		3		3	—	
その他	4		1		△3	41	
経常利益	146	0.9	631	4.7	484	1,091	1.8
VI 特別利益	—	—	24	0.2	24	369	0.6
固定資産売却益	—		—		—	52	
貸倒引当金戻入益	—		24		24	—	
関係会社株式売却益	—		—		—	147	
保険解約益	—		—		—	168	
VII 特別損失	0	0.0	777	5.8	776	1,153	1.9
固定資産除売却損	0		0		△0	267	
減損損失	—		—		—	64	
投資有価証券評価損	—		—		—	1	
役員退職慰労金	—		777		777	—	
特別退職金	—		—		—	820	
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)	146	0.9	△120	△0.9	△267	307	0.5
法人税等	198	1.2	285	2.1	87	551	0.9
少数株主利益	△3	△0.0	△5	△0.0	△2	△167	△0.3
四半期(当期)純損失	48	0.3	401	3.0	352	76	0.1

(注) 増減は当第1四半期と前第1四半期との比較で表示しております。

3 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕	当第1四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕	(参 考) 平成18年3月期
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益又は純損失		146	△120	307
減 価 償 却 費		61	53	253
無形固定資産・長期前払費用償却費		114	122	498
連結調整勘定償却額		26	10	73
受取利息及び配当金		△54	△45	△143
投資事業組合運用損益(利益：△)		—	—	△116
関係会社株式売却益		—	—	△147
保険解約損益(利益：△)		—	—	△168
支払利息		9	8	33
有価証券売却損益(利益：△)		△11	△43	23
固定資産売却益		—	—	△52
固定資産除売却損		0	0	267
減損損失		—	—	64
役員退職慰労金		—	777	—
特別退職金		—	—	820
売上債権の増減額(増加：△)		△272	△851	△396
たな卸資産の増減額(増加：△)		256	△1,229	498
仕入債務の増減額(減少：△)		△276	597	△856
未払金の増減額(減少：△)		△160	△1,675	608
前受金の増減額(減少：△)		42	40	260
預り金の増減額(減少：△)		△88	47	△1,409
未払消費税等の増減額(減少：△)		△80	△36	△114
前払年金費用の増減額(増加：△)		△23	△19	△427
売上割戻引当金の増減額(減少：△)		0	△9	△20
退職給付引当金の増減額(減少：△)		28	△8	△49
その他の		△138	△723	△727
小 計		△421	△3,103	△920
利息及び配当金の受取額		54	21	133
利息の支払額		△9	△7	△32
法人税等の支払額		△189	△2	△303
役員退職慰労金等の支払額		—	—	△55
営業活動によるキャッシュ・フロー		△566	△3,091	△1,177
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期性預金の払戻による収入		△0	23	453
有価証券の売却・償還による収入		728	3,095	5,316
有価証券の取得による支出		△560	△634	△3,813
有形固定資産の売却による収入		—	—	125
有形固定資産の取得による支出		△95	△51	△152
無形固定資産の取得による支出		△201	△336	△406
保険関連収入		—	—	332
連結除外による影響額		—	—	△266
その他の		0	△43	△511
投資活動によるキャッシュ・フロー		△129	2,052	1,077
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増減額(減少：△)		350	862	2,350
長期借入による収入		165	—	165
長期借入金返済による支出		△202	△46	△415
配当金の支払額		△486	△485	△582
その他の		△0	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー		△175	330	1,516
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		5	0	15
V 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)		△865	△708	1,432
VI 現金及び現金同等物の期首残高		7,128	8,560	7,128
VII 現金及び現金同等物の期末残高		6,263	7,852	8,560

4 セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	ポイント サービス 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する 売 上 高	8,493	7,121	336	3	15,984	—	15,984
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	72	0	79	152	(152)	—
計	8,493	7,193	367	83	16,136	(152)	15,984
営 業 費 用	8,255	7,286	458	79	16,080	(154)	15,926
営業利益又は営業損失(△)	237	△93	△91	3	55	2	58

当第1四半期（自平成18年4月1日 至平成18年6月30日）

（単位：百万円）

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	ポイント サービス 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する 売 上 高	7,232	6,119	—	29	13,381	—	13,381
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	—	42	44	(44)	—
計	7,232	6,121	—	71	13,425	(44)	13,381
営 業 費 用	6,541	6,252	—	108	12,902	(44)	12,858
営業利益又は営業損失(△)	691	△131	—	△36	523	△0	523

前連結会計年度（自平成17年4月1日 至平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	レディース インナー等 卸売事業	ギフト 卸売事業	ポイント サービス 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する 売 上 高	34,106	26,230	770	26	61,134	—	61,134
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	209	—	197	407	(407)	—
計	34,106	26,440	770	224	61,541	(407)	61,134
営 業 費 用	32,486	27,175	929	234	60,825	(418)	60,407
営業利益又は営業損失(△)	1,620	△735	△159	△9	715	11	727

(注) 1. 事業区分の方法は、商品の種類、販売形態、販売経路および重要性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な商品・サービス

レディースインナー等卸売事業：レディースインナーを主体とする衣料品・化粧品等

ギフト卸売事業：贈答品・慶弔見舞品・その他のギフト商品全般

その他の事業：コンピューターソフトウェア開発等

3. ポイントサービス事業は、その事業会社が前連結会計年度において連結子会社ではなくなったため、当第1四半期の実績はありません。

(2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期、当第1四半期および前連結会計年度において、本邦の売上高は全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 海外売上高

前第1四半期、当第1四半期および前連結会計年度において、海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

5 販売の状況

(単位：百万円)

期別 区分	前第1四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕		当第1四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
レディースインナー等卸売事業		%		%		%
ファンデーション	2,244	14.0	1,629	12.2	7,962	13.0
レックニット	819	5.1	682	5.1	3,273	5.4
肌着・ショーツ	2,336	14.6	1,800	13.5	9,223	15.1
ランジェリー	120	0.8	88	0.7	396	0.6
ナイティ・水着・アウター等	1,476	9.2	1,095	8.2	5,386	8.8
スポーツ	—	—	484	3.6	1,288	2.1
チャイルド	122	0.8	81	0.6	326	0.5
タオル	93	0.6	138	1.0	896	1.5
ギフト	200	1.3	133	1.0	764	1.3
化粧品	707	4.4	897	6.7	3,304	5.4
その他	371	2.3	201	1.5	1,282	2.1
小計	8,493	53.1	7,232	54.1	34,106	55.8
ギフト卸売事業	7,121	44.6	6,119	45.7	26,230	42.9
ポイントサービス事業	366	2.3	—	—	770	1.3
その他の事業	3	0.0	29	0.2	26	0.0
合計	15,984	100.0	13,381	100.0	61,134	100.0